２０２７年度（令和９年度）
日本大学大学院芸術学研究科
入学試験要項

（博士前期課程　一般入学試験）
（博士後期課程　一般・社会人入学試験）

日本大学大学院芸術学研究科

〒176-8525　東京都練馬区旭丘２－４２－１

TEL：03-5995-8202＜教務課大学院係＞

E-mail：art.graduateschool@nihon-u.ac.jp

出願から入学までの流れ

① 入学試験要項により，出願資格及び入学試験諸日程（事前連絡期間，出願期間，試験日等）を確認する

↓

② 各教授の研究領域や業績等を確認の上，自身の指導希望教授を決定する

↓

③ 11月6日10時00分～11月13日17時00分事前連絡を「事前連絡フォーム」より行う
（事前連絡において，指導教授より出願が認められた場合のみ出願可能となります）

↓

④ 出願書類の準備及び入学検定料を納入する

↓

⑤ 出願書類を郵送する （日本大学芸術学部教務課大学院係へ郵送）

↓

⑥ 受験票の取得 （日本大学芸術学部教務課大学院係より郵送にて出願者に送付）

↓

⑦ １次試験（書類及び作品・論文等審査※専攻により異なる のため来校の必要はなし）

↓

⑧ １次試験の合格発表

↓

⑨ ２次試験の受験 （１次試験合格者のみ受験可能）

↓

⑩ ２次試験の合格発表

↓

⑪ 入学手続（入学時納入金の振込及び入学手続き書類の提出）

↓

⑫ 入学（2027年4月入学）

目　次

Ⅰ 日本大学大学院芸術学研究科の教育方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅱ 入学試験出願資格及び募集人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

1　入学試験出願資格 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

2　募集人員 ・・・ 5

Ⅲ 入学試験案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

1　入学試験諸日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

2　入学検定料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

3　出願にあたっての確認及び注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

4　出願方法・出願書類の提出先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

5　出願書類一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

6　出願書類に関する注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

Ⅳ 入学試験科目，提出作品・論文等について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

1　試験科目 ・・ 14

2　１次試験の概要（「論文または作品審査」）の詳細 ・・・・・・・・・・・・ 15

3　２次試験の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

Ⅴ 入学者研究指導教授一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

1　博士前期課程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

2　博士後期課程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

Ⅵ 入学手続及び入学時納入金・学費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

【個人情報の保護について】

日本大学では，ご提出いただきました志願書の氏名・住所等の個人情報は，入学試験の出願受付，実施，合格発表，さらには入学に至る一連の手続と，日本大学で学生生活を始めるに当たって必要となる書類・お知らせ等の送付及び入学者データの統計処理のために使用いたします。

なお，日本大学はこれらの業務の一部を業者に委託する場合があります。この場合，日本大学及び当該業務の委託を受けた業者は，上記利用目的の達成に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはありません。

Ⅰ　日本大学大学院芸術学研究科の教育方針

１．大学院芸術学研究科の紹介

日本大学大学院芸術学研究科は昭和 26 年に修士課程文芸学専攻として誕生した芸術系総合大学院です。博士前期課程では，専門性の高い５つの専攻で，深化した芸術の理論と歴史の研究を通して想像力と国際発信力を養い，併せて領域を越えた応用領域での複合的な芸術の創作と研究を探求することで，高度な知識と経験を研鑽します。芸術学部の発展に合わせて，平成５年に映像芸術専攻，造形芸術専攻，音楽芸術専攻，舞台芸術専攻の４専攻を増設し，多くの研究者，表現者を輩出しています。平成７年に開設された博士後期課程芸術専攻では，これまで 144 名の博士を輩出し，様々なフィールドで自立した研究と表現を行い，社会貢献を果たしています。未来の芸術開拓者となる人材の育成を目標としています。

２．教育研究上の目的

時代とともに変化する芸術の現状を視野に置きながら,芸術の理論と歴史の研究で想像力を養い,併せて専門及び学際的課題を含む応用領域の研究を行う。専門分野の更なる研究と創作活動を行うとともに，隣接領域の芸術と触れ合い，広い視野をもって芸術を理解することで幅広い知識と技術を持った，社会における芸術活動に貢献し得る卓越した人材を養成する。

３．入学者受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程

本学の教育理念である「自主創造」に基づき，芸術の歴史と理論を学び，多様化する高度な表現を論理的かつ批判的に思考し，新たな芸術の研究・表現を創造できる人を求める。

博士後期課程（芸術専攻）

本学の教育理念である「自主創造」に基づき，芸術の豊かな知識・教養と倫理観を持ち，自ら研究課題を発見・解決する方法を思考し，自立した研究・創作活動に挑戦し，次代の芸術をリードする人を求める。

選考について

・日本大学大学院芸術学研究科では，創造性を評価する。
・論文（小論文）試験では論理性と発想力を審査する。実技・作品審査では技術と表現力を審査する。
・外国語試験では各専攻において文献・論文研究に必要となる読解力を審査する。
・口述試験では各専攻分野で芸術を学ぶための意欲，適性及び人間性を審査する。

４．学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

日本大学大学院芸術学研究科では，日本大学教育憲章に基づき,「日本大学の目的及び使命」を理解し,「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力に基づく，芸術・文化全般に対して国際的視野を備え，本研究科の修了要件を満たした者に，学位を授与する。

博士前期課程では，研究活動を主題（論文コース）として，教育理念・目標に応じた高度で専門的な教育課程において所定の単位を取得し，個人の研究計画・研究内容に基づき修士論文を提出し,審査及び口述試験を経て，各研究分野における理論と歴史を専門的に探究する力を持ち，問題を自ら解決するために,芸術の研究と表現を磨き,その能力を社会に生かす姿勢を持つことができる者に,**修士（芸術学）＝ Master of Arts** の学位を授与する。

創作活動を主題（制作・作品コース）として，教育理念・目標に応じた高度で専門的な教育課程において所定の単位を取得し，個人の研究計画・研究内容に基づき修士制作・作品（演奏，上演を含む）を提出し,審査及び口述試験を経て,創作の先にあるアートビジネスと結びつく思考探究による自己プロデュース能力を養い，自身の創作活動に関連するリサーチの結果を副論文として提出することで，自身の作品を理論的に説明することができ,その能力を社会に生かす姿勢を持つことができる者に,**修士（芸術）＝ Master of Fine Arts** の学位を授与する。

学位が授与されるにあたり得るべき学修成果は以下のとおりである。

ＤＰ１：各自の専門分野における高度で専門的な芸術理論・歴史の知識を身につける。
ＤＰ２：専門分野における高度な研究能力，論理的思考力および創造力を培い，自律的に研究を遂行できる能力と問題解決能力を身につける。
ＤＰ３：幅広い視野にたち，隣接芸術領域における関連する芸術理論・歴史の知識を身につける。
ＤＰ４：芸術の歴史のなかで各領域の果たしてきた役割と社会における意味を総合的に論考し，今日の芸術的状況を認識する能力を身につけるとともに，「アート思考」を養い，アートと社会の関係性を考え，専門的知識や技術を社会で応用し，新たな芸術創造と活動に貢献できる力を身につける。

博士後期課程では，芸術の研究者，創作者として自立するための高度な専門的知識と能力を身につけ，独力で新たな研究，創作の問題を見出し，解決させ，社会に貢献できるようになることが，課程修了の基準であり。博士論文を提出して最終試験及び口述試験を経て，所定の単位を取得した者に対して**博士（芸術学）= Doctor of Arts** の学位を授与する。

５．教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

日本大学大学院芸術学研究科では，日本大学教育憲章に基づき，学位授与の方針に沿って教育課程を編成し実施する。

博士前期課程では，文芸学，映像芸術，造形芸術，音楽芸術，舞台芸術の５つの専攻を置き，21 世紀の芸術が担う社会的先導性を身につけることを目標とする。基礎的素養と各専攻の専門知識を培うと同時に，専攻の壁を越えて学生の知的関心に応じるべく，相互に関連する広範囲の科目を配置し，修士論文・作品の研究を個別に指導する。憲章の８つの能力を養成するとともに，芸術分野の多岐にわたる授業科目を体系化し，講義・演習・実習・実技等の授業形態を組み入れた学修方法による教育課程を以下のとおり編成し，実施する。

（１）主指導教授が担当する科目を１年次より２年間継続して履修し，修士論文・修士制作の作成のための指導を少人数制で実施する。
（２）全専攻共通科目である「芸術学特論」では，芸術の歴史のなかで各領域の芸術の果たしてきた役割と社会における意味を総合的に論考して，今日の芸術的状況を認識することを目的としている。また，「リサーチ特殊研究」では論文作成の基本と原則を習得し資料収集の方法などの能力を養うことを目的とし，芸術の表現力と技術を身に付けつつ，修士論文執筆のための実践的な指導を実施する。
（３）専攻ごとに芸術理論・歴史を専門的に探究する力を修得するための理論部門や，各自の専門研究における問題を自ら解決するための演習・実習部門を設置し科目を配置する。また，相互に関連する他専攻の専門科目を履修する関連領域部門では，学生自身の専門領域に留まらない知的関心に応えられるようなカリキュラムを編成する。

博士後期課程では，博士前期課程での研究をさらに発展させるため，指導教員により，論文作成における多岐にわたるアドバイスを行うとともに，研究成果発表のプレゼンテーション能力を強化し，コースワークとリサーチワークを組み合わせた体系的な授業形態を組み入れ，学生自身が独力で問題設定から解決までできることを目指した教育課程を以下のとおり編成し，実施する。

（１）１年次より主指導教員が担当する「芸術研究特別演習」を中心にリサーチワークを実施して，実技能力や調査研究能力，研究理論を構築する能力に関する綿密な指導をとおして，学生自らが設定する研究内容を高次なものへと高め，博士論文の作成に向けた総合的かつ実践的な研究指導を実施する。
（２）コースワークを充実させ，研究・創作の視野を広げ，幅広い学識を涵養するため，他領域の科目を履修するとともに，理論だけでなく作品制作等の表現をとおしての教育を実施する。また，「芸術学特殊研究」を必修科目として，芸術を学ぶ上で必要とされる芸術学や美学のほか様々な学問領域の歴史について理解する。
（３）博士論文提出までに１次予備試験，２次予備試験（中間発表）の２回の予備試験と博士論文提出の際の口頭発表をとおして，研究者・表現者として必要なプレゼンテーション能力を身に付けるとともに，指導教員以外の教員からの助言を受け博士論文を完成させる。

Ⅱ　入学試験出願資格及び募集人員

１．入学試験出願資格

１）博士前期課程　一般入学試験

以下のいずれかの条件に該当するもの

① 大学を卒業した者及び２０２７年３月までに卒業見込みの者
② 学校教育法第１０４条第７項の規定により学士の学位を授与された者及び２０２７年３月までに学位を授与される見込みの者
③ 外国において学校教育における１６年の課程を修了した者及び２０２７年３月までに修了見込みの者
④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者及び２０２７年３月までに修了見込みの者
⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び２０２７年３月までに修了見込みの者
⑥ 外国の大学等において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び２０２７年３月までに授与見込みがある者
⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び２０２７年３月までに修了見込みの者
⑧ 文部科学大臣の指定した者
⑨ 学校教育法第１０２条第２項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
※ 入学資格審査の対象です。出願を希望する場合は5ページの「入学資格審査について」に沿って手続きを進めてください
⑩ 本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達したもの及び２０２７年３月までに２２歳に達する者
※ 入学資格審査の対象です。出願を希望する場合は5ページの「入学資格審査について」に沿って手続きを進めてください

２）博士後期課程　一般入学試験

以下のいずれかの条件に該当するもの

① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者及び２０２７年３月までに取得する見込みの者
② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び２０２７年３月までに授与される見込みのある者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び２０２７年３月までに授与される見込みのある者
④ 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び２０２７年３月までに授与される見込みのある者
⑤ 国際連合大学の課程を修了し,修士の学位に相当する学位を授与された者及び２０２７年３月までに授与される見込みの者
⑥ 外国の学校，第４号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，修士論文又は特定課題の研究成果の審査と試験の合格に代える審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
⑦ 文部科学大臣の指定した者
⑧ 本大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達したもの及び２０２７年３月までに２４歳に達する者
※ 入学資格審査の対象です。出願を希望する場合は5ページの「入学資格審査について」に沿って手続きを進めてください

3）博士後期課程　社会人入学試験

以下のいずれかの条件に該当するもの

① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者及び２０２７年３月までに取得する見込みの者で，**日本国内の公共機関，企業等に現に勤務し，入学後も継続して勤務を続ける者**

② 本大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達したもの及び２０２７年３月までに２４歳に達するもので，**日本国内の公共機関，企業等に現に勤務し，入学後も継続して勤務を続ける者**

※ 入学資格審査の対象です。出願を希望する場合は５ページの「入学資格審査について」に沿って手続きを進めてください

4）入学資格審査について

以下のいずれかに該当する場合，出願前に入学資格審査が必要です。

① 博士前期課程出願希望者で４ページ**「１）博士前期課程一般入学試験」出願資格①～⑧のいずれにも該当しない者**

② 博士後期課程一般入学試験出願希望者で４ページ**「２）博士後期課程一般入学試験」出願資格①～⑦のいずれにも該当しない者**

③ 博士後期課程社会人入学試験出願希望者で５ページ**「３）博士後期課程社会人入学試験」出願資格①に該当しない者**

④ 中国の高等教育自学考試により大学を卒業した者

入学資格審査が必要な志願者は，芸術学研究科教務課大学院係（art.graduateschool@nihon-u.ac.jp）あてに電子メールにてご連絡ください。連絡をいただいた方に入学資格審査申請書類の様式をお送りいたしますので，**2026年10月28日(水)**までに申請書類一式を芸術学研究科教務課大学院係あて送付してください。（郵送必着）

【入学資格審査必要書類】

① 入学資格審査申請書（研究科所定用紙）　② 入学資格審査調書（研究科所定用紙）

③ 研究計画書（研究科所定用紙）　④ 最終学校の卒業（修了）証書（写）または卒業（修了）証明書

⑤ 最終学校の成績証明書（写）

※ ④⑤は日本語または英語で作成されたもの。その他の言語の場合は公的機関（日本語学校による翻訳も可）による日本語または英語訳を添付すること。

2．募集人員

1）博士前期課程

専攻	分野	募集人員
文芸学専攻		20 名
映像芸術専攻	写真/映画/放送	20 名
造形芸術専攻	絵画/版画/彫刻/造形理論/地域芸術/ コミュニケーションデザイン/インダストリアルデザイン/建築デザイン	15 名
音楽芸術専攻	作曲/声楽/器楽/音楽学/音楽教育/情報音楽	10 名
舞台芸術専攻		10 名

2）博士後期課程

専攻	募集人員
芸術専攻	8名 （うち社会人3名）

（注） 募集人員は，すべての入学試験（外国人留学生入学試験・学部内選考入学試験・一般入学試験・社会人入学試験 ※博士後期課程のみ）を合わせた人数です。

Ⅲ　入学試験案内

１．入学試験諸日程

博士前期課程・博士後期課程（一般入学試験・社会人入学試験）

※期日は全て 2026 年度内（2026 年 4 月～2027 年 3 月）となります

事前連絡期間	**１１月６日（金）10 時 00 分～１１月１３日（金）17 時 00 分 ※⑴**
出願期間	**１１月２７日（金）～１２月１１日（金）　【郵送必着】　※⑵**
1次試験期日	**書類・論文作品等審査のため来校不要 ※⑶**
1次試験合格発表	**２月３日（水）　【速達郵便にて通知】　※⑸**
2次試験期日	**２月２０日（土）　芸術学部校舎で実施**
2次試験合格発表	**３月３日（水）　【速達郵便にて通知】　※⑸**
入学手続期間	**３月４日（木）～３月１１日（木）**

【 注意事項 】

⑴　出願前の「希望指導教授への事前連絡」については７ページを確認してください。

⑵　出願手続きは出願締切日《12 月 11 日（金）》郵送必着となります。

⑶　１次試験は書類審査・論文または作品等審査（専攻により異なる）のため，来校する必要はありません。

⑷　２次試験は１次試験合格者のみ，日本大学芸術学部校舎に来校して受験していただきます。２次試験の詳細は１次試験合格発表時に１次試験合格者へ通知いたします。

⑸　１次試験及び２次試験の合格発表は速達郵便による通知となります。（合格発表日に合否通知を**発送**いたします）なお，電話やメールによる合否の結果確認には対応いたしません。

２．入学検定料

出願期間中に以下の銀行口座にお振込みください。**※別紙「入学検定料の振込について」をご参照ください。**

⑴ 振　込　先　銀 行 名　三菱UFJ銀行　江古田支店
口座番号　普通　0000818
受取人口座名　日本大学芸術学部（ニホンダイガクゲイジュツガクブ）

⑵ 依頼人名義　**入試コード志願者氏名（カタカナ）** を入力してください。
（例）博士前期一般入試志願者は　**２１ニチゲイタロウ**　と入力

入試コード	博士前期課程一般入試	「２１」
	博士後期課程一般入試	「２４」
	博士後期課程社会人入試	「２５」

⑶ 振 込 金 額　35，000円

※ 締切日当日の振込はお控えください。（出願書類一式は締切日必着のため締切日当日に入学検定料を納入した場合，出願書類の提出が間に合わない可能性がございます）
※ 振込手数料は振込者本人の負担となります。
※ 海外銀行口座からの振込はお控えください。（海外送金手数料により入学検定料が不足となる可能性があります）

3．出願にあたっての確認及び注意事項

1）希望指導教授への事前連絡ついて

大学院芸術学研究科へ出願する場合，博士前期課程・後期課程ともに出願前に希望指導教授への事前連絡（指導教授への研究内容の確認）が必要となります。

2027 年度入学者の指導教授・指導コースは 20・21 ページに一覧が掲載されておりますので，各教授の研究領域を芸術学研究科ホームページ（https://nihon-u-gsa.com/）より確認し，ご自身が希望する指導教授を決定してください。（指導教授一覧に掲載されていない教員は指導教授となれません）希望指導教授が決まりましたら、受付期間内に専用の「事前連絡フォーム」より必要事項の入力，研究計画書をアップロードし，事前連絡をしてください。

事前連絡を経て，指導教授や研究内容等の確認完了後，大学院係より「**事前連絡確認書**」が交付されます。出願される際は，必ず他の出願書類とともに「事前連絡確認書」を提出してください。

博士前期課程（一般入学試験）・博士後期課程（一般，社会人入学試験）事前連絡期間

2026 年 11 月 6 日（金）10：00～11 月 13 日（金）17：00

「事前連絡申込フォーム」は芸術学研究科ホームページ
（https://nihon-u-gsa.com/）より公開いたします。

【事前連絡に関する注意事項】

① 同時に複数の教授や分野に事前連絡をすることは出来ません。

② **本学部の卒業見込生・修了見込生**は事前連絡期間の事前連絡申請は不要ですが，出願前に各自で必ず希望指導教授へ連絡及び相談してください。（本学の卒業生・修了生は事前連絡申請が必要となります）

③ 本学部の卒業見込・修了見込生**以外**の方は希望指導教授と研究内容等の相談が済んでいる場合でも，必ず期間内に事前連絡を行うことが必要となります。

④ **博士前期課程志願者は事前連絡時に「論文（MA）コース」で出願するか，「制作・作品（MFA）コース」で出願するかを選択していただきます。**（原則，入学後にコースの変更をすることは出来ません）各指導教授ごとの指導コースについては 20 ページをご確認ください。

⑤ 事前連絡期間締切後の申し込みは送信ボタンの押し忘れや通信環境の不具合含め，一切お受けいたしません。

⑥ 締切間際に急いで申し込みをされる方は入力内容のミスが多くみられるため，時間に余裕をもってお申し込みください。

⑦ 事前連絡をしなかった方は 2027 年度（令和 9 年度）大学院入学試験に出願することは出来ません（本学部卒業見込生・修了見込生を除く）

2）日本語能力に関する出願条件について（外国籍の方は必ず確認してください）

外国籍の志願者の日本語能力に関する出願条件は以下のとおりです。※ 本学卒業（見込）生を除く。

博士**前期課程**志願者

出願時に，**日本語能力試験（JLPT）**において「**N2 以上**」に合格していること，
又は**日本留学試験（EJU）**において 2024 年 11 月，2025 年 6 月，11 月，2026 年 6 月実施のいずれかを受験し「日本語（読解，聴解・聴読解）で **240 点以上**」及び「日本語（記述）で **35 点以上**」を取得していること。

博士**後期課程**志願者

出願時に，**日本語能力試験（JLPT）**において「**N1**」に合格していること，

又は**日本留学試験（EJU）**において 2024 年 11 月, 2025 年 6 月, 11 月，2026 年 6 月実施のいずれかを受験し「日本語（読解，聴解・聴読解）で **280 点以上**」及び「日本語（記述）で **35 点以上**」を取得していること。

※　日本語要件の出願基準をまだ満たしていない方で 2026 年 12 月の日本語能力試験（JLPT），2026 年 11 月の日本留学試験（EJU）を受験する方は，結果発表が出願締切日に間に合いませんので 2027 年度一般・社会人入学試験に出願いただくことは出来ません。

3）その他

⑴　出願にあたっては，必ず本研究科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を含む３つのポリシーをご確認ください。

⑵　出願書類に不備があった場合は，原則として出願を受け付けられません。

⑶　出願書類・記載事項（提出作品）に不正や剽窃が認められた場合は，判明した時点での資格（出願・合格・入学）を取り消します。（証明書等の発行元に問い合わせることがあります）

⑷　出願後の専攻・分野の変更は一切認められません。

⑸　いったん提出された出願書類及び納入された入学検定料は原則として返還いたしません。

⑹　身体の機能に著しい障害のある方は，受験及び就学が困難な場合もありますので，出願前のできるだけ早い時期に，必ず芸術学研究科教務課大学院係に相談してください。
（試験会場への杖や補助器具の持ち込み・車椅子での受験・補聴器等の使用が必要な方も事前にご相談ください）
【日本大学ホームページ＞合理的配慮の提供に関する対応について】
https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/consideration/

⑺　入学年度は原則として休学することが出来ません。ご承知の上で出願してください。

【日本大学学則及び教育研究上の基礎的な情報について】

日本大学学則及び「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」，「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」等について，芸術学部ホームページにてお知らせしています。
http://www.art.nihon-u.ac.jp/about/relations/

※「学則等」については，ホームページ中程に記載があります。

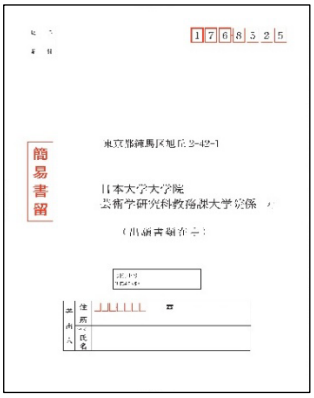
４．出願方法 ・出願書類の提出先

封筒に出願書類を全て入れて「出願用宛名ラベル」を貼付の上，簡易書留にて日本大学大学院芸術学研究科教務課大学院係へ出願締切日＝2026 年 12 月 11 日（金）までに郵送してください。※郵送必着

日本国外から出願する場合は「ＥＭＳ（Express Male Service)」又は書留扱いの航空便（Registered Post by Air Mail）で郵送してください。(ラベルの内容記入欄に「大学院一般入学試験出願書類在中」と記入してください)

出願締切後（12 月 12 日以降）に出願書類が芸術学研究科へ到着した場合，出願を受理いたしません。

〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1
日本大学大学院芸術学研究科教務課大学院係
(日本国外から郵送する場合)
Academic Affairs Section College of Art, Nihon University
2-42-1 Asahigaoka, Nerima-ku, Tokyo
〒176-8525 Japan



５．出願書類一覧

１）博士前期課程　「＊」…専攻・志願者により必要か不要か異なる書類

提出書類	注意事項
(1) 事前連絡確認書＊	(1) 本学部卒業見込みの者は提出不要 (2) 詳細は７ページの「1) 希望指導教授への事前連絡について」を参照
(2) 入学志願票	(1)「志願票記入例及び注意事項」を確認し，作成してください。 (2) 出願後の記載事項の変更は認めません。 (3) 所定の２箇所 に顔写真（縦４cm×横３cm）を貼付してください。 (4) 緊急連絡先は日本に在住している方とします。 (5) 選択外国語は，文芸学専攻・映像芸術専攻・造形芸術専攻（造形理論分野のみ）音楽芸術専攻・舞台芸術専攻の志願者が選択してください。
(3) 成績証明書(原本)	注意事項の詳細は 13 ページを参照してください。
(4) 卒業(見込)証明書(原本)	
(5) 2027 年度(令和９年度) 入学試験研究計画書(所定用紙)	(1) 日本語で作成してください。 (2) 片面印刷し，全ページ揃っているか確認の上，提出してください。 (3) 出願後の修正や差し替えは出来ません。
(6) 審査のための作品・論文等 ＊	(1) １次試験において，「論文または作品審査」がある専攻分野の志願者は 15～16 ページを確認の上，出願する専攻分野の指示にあったものを提出してください。 (2) 本学部卒業生・卒業見込生も提出が必要となります。
(7) 提出作品・論文等証明書(所定用紙)＊	(1) 審査のための作品または論文等の提出が不要な専攻・分野の出願者に関しては提出の必要はありません。 (2) 本学部の卒業または卒業見込の者は，「入学試験作品提出届（所定用紙）」に代えることが出来ます。 (3) 証明者は原則として在籍又は出身校の指導教授又はこれに準ずる方としてください。日本語学校に通っている者は日本語学校の教員の証明も可とします。家族や友人が証明者となることは出来ません。 (4) ㊞欄には必ず証明者の捺印もしくはサインをいただいてください。

(次のページに続きます)

提出書類	注意事項
（8）入学検定料振込証明書(大学提出用)	⑴ 別紙「入学検定料の振込について」を読み，お振込みください。 ⑵ 線で切り取り，下部分のみ提出してください。
（9）日本語能力に関する証明書類 ＊	外国籍の志願者のみ提出　注）本学の卒業生・卒業見込生は不要 以下①～③のいずれか１点 ①日本語能力試験の 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 の原本 （N２以上に合格しているもの）※証明書の写しは不可 ② 日本留学試験の 成績確認書 ③ 日本留学試験の 成績通知書の写し （2024 年 11 月, 2025 年 6 月, 11 月, 2026 年 6 月実施のいずれかの試験で「日本語（読解、聴解・聴読解）で 240 点以上」および「日本語（記述）で 35 点以上」取得しているもの）
（10）受験票･1 次試験合否結果通知用宛名ラベル	⑴ カラー印刷推奨 ⑵ 受験票及び１次試験合否結果通知が確実に届く 自身の住所を記入 し，見本の通り， 市販の長３封筒に貼り付けて 提出してください。 ⑶ 切手を貼る必要はありません。
（11）入学試験実技曲目届出書 ＊	音楽芸術専攻の声楽/器楽/音楽学分野の志願者のみ提出

２）博士後期課程〈一般･社会人入学試験〉　「＊」…志願者により必要か不要か異なる書類

	書類等名	注意事項
一般・社会人入試共通	*（1）事前連絡確認書＊*	(1) 本研究科修了見込みの者は提出不要 (2) 詳細は７ページの「1）希望指導教授との事前連絡について」参照
	（2）入学志願票	(1)「志願票記入例及び注意事項」を確認し，作成してください。 (2) 出願後の記載事項の変更は認めません。 (3) 所定の２箇所に顔写真（縦４㎝×横３㎝）を貼付してください。 (4) 緊急連絡先は日本に在住している方とします。 (5) 一般入学試験志願者は外国語を選択してください。
	（3）成績証明書(原本)	注意事項の詳細は 13 ページを参照してください。
	（4）修了(見込)証明書(原本)	
	（5）2027 年度(令和９年度)入学試験研究計画書(所定用紙)	(1) 日本語で作成してください。 (2) 片面印刷し，全ページ揃っているか確認の上，提出してください。 (3) 出願後の修正や差し替えは出来ません。
	（6）審査のための提出作品･論文等	(1) 17 ページを確認の上，提出してください。 (2) 本研究科修了生・修了見込生も提出が必要となります。
	（7）提出作品･論文等証明書(所定用紙)＊	(1) 本研究科の修了または修了見込の者は，「入学試験作品提出届(所定用紙)」に代えることが出来ます。 (2) 証明者は原則として在籍又は出身校の指導教授又はこれに準ずる方としてください。日本語学校に通っている者は日本語学校の教員の証明も可とします。家族や友人が証明者となることは出来ません。 (3) ㊞には必ず証明者の捺印もしくはサインをいただいてください。
	（8）入学検定料振込証明書(大学提出用)	(1) 別紙「入学検定料の振込について」を読み，お振込みください。 (2) 切り取り線で切り取り，下部分のみ提出してください。
	（9）日本語能力に関する書類 ＊	外国籍の志願者のみ提出　注）本学の卒業生，卒業見込生は不要 以下①～③のいずれか１点 ①日本語能力試験の日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の原本（Ｎ１に合格しているもの）※証明書の写しは不可 ② 日本留学試験の成績確認書　③ 日本留学試験の成績通知書の写し (2024 年 11 月，2025 年６月，11 月，2026 年６月のいずれかの試験で「日本語（読解、聴解・聴読解）で 280 点以上」および「日本語（記述）で 35 点以上」取得しているもの)
	（10）受験票･1 次試験合否結果通知用宛名ラベル	(1) カラー印刷推奨 (2) 受験票及び１次試験合否通知が確実に届く自身の住所を記入し，見本の通り市販の長３封筒に貼り付けて提出してください。 (3) 切手を貼り付ける必要はありません。
社会人	*（11）研究業績報告書(所定用紙)*	場合により業績現物の提出を求めることがあります

６．出願書類に関する注意事項

１）出願書類共通

⑴　出願書類の所定用紙は日本大学ホームページよりダウンロードしてください。
（日本大学ホームページ：https://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/graduate/）

⑵　出願書類（提出作品を除く）はすべて**Ａ４サイズ**で印刷してください。

⑶　書類に直接記入して作成する場合は，**黒のボールペン（消せるボールペンは不可）**で丁寧に記入してください。

⑷　書き間違えた場合は，修正液・修正テープ等は使用せず，訂正箇所に二重線を引き，正しく書き直してください。

⑸　出願書類に不備がある場合は，原則として受け付けません。なお，書類・記載事項に不正が認められた場合は，判明した時点での資格（出願・合格・入学）を取り消します。

⑹　いったん提出された出願書類は原則返還いたしません。

２）博士前期課程 制作・作品コース/論文コースについて

博士前期課程入学志願者は事前連絡確認書に記載された「志望コース」を選択してください。

３）入学検定料振込証明書

⑴　インターネットバンキング等で振り込まれた方は，振込完了画面（振込日時・金額・振込名義が分かるもの）を印刷の上，貼り付けてください。

⑵　明細書は振込が出来ているかを必ず確認した上で貼り付けてください。

⑶　入学検定料が不足している場合，出願を受理出来ません。（振込・送金手数料にお気を付けください）

４）日本語要件に関する証明書について

⑴　日本大学卒業(見込)者・修了(見込)者は必要ありません。

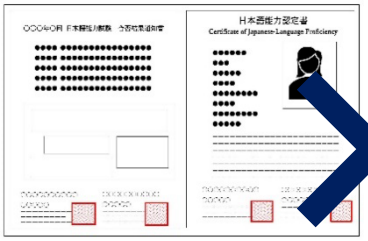
⑵　日本語能力試験(JLPT)の結果により出願する場合，「**日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書**」の**原本のみ**出願書類として認めます。

「証明書の写し（コピー）」，「合否結果通知書」，「日本語能力認定書」，「MyJLPT の結果画面の印刷」は出願書類として受理できません

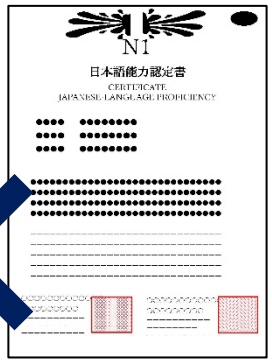


日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の**原本**
（JLPT）
※写し（コピー）は不可

成績確認書
（EJU）



合否結果通知書
（JLPT）



日本語能力認定書
（JLPT）

５）　日本国外からの出願について

出願後に芸術学研究科よりお渡しする受験票や合否結果通知は日本国外へ郵送することは出来ません。日本にいる代理人にお受け取りいただくことになります。（提出作品を返却する際も日本国内のみとなります）

6）卒業(見込)証明書・修了(見込)証明書・成績証明書

⑴ 出身大学が発行した証明書**原本**を提出してください。

⑵ 証明書の原本が提出できない場合は，certified true copy を提出してください。

certified true copy とは

原本から正しく複製されたものであることを，出身学校，大使館，総領事館等の公的機関が証明したもの。（日本語学校・翻訳会社は含まれません）

(注) 出身学校で証明をもらう場合は，必ず学校の公印が押されたものを提出してください。証明書が複数ページにわたる場合は，全てのページにおいて必要です。

⑶ **インターネット**や**データ出力**による証明書（**公印やサインが印刷されたもの**）は受け付けません。

※発行元の大学が用意した特殊用紙（セキュリティペーパーや透かし紙など，コピー防止や偽造防止の加工が施されている用紙）の場合は可とします。（QR コードの掲載だけでは認めません）

⑷ CHSI（中国高等教育学生信息網），CSSD 等が発行する証明書は出願書類として受け付けられません。

⑸ 証明書は**日本語又は英語**で作成されたものを提出してください。

それ以外の言語で作成されたものを提出する場合は，日本語又は英語の翻訳文を添付し，大使館，総領事館等の公的機関による翻訳証明を提出してください。

なお，日本語学校・翻訳会社（法人によるものに限る）等での翻訳証明も認めますが，**必ず翻訳責任者の氏名が記載され，学校・会社等の公印が押されたもの**を提出してください。

⑹ 成績証明書は出身大学在学中の**全学年分の成績が記載されたもの**（各学年ごとに成績が記載されたもの）を提出してください。

※各学年ごとに成績が分けられていない場合，成績証明書に入学月日・卒業年月日の記載(証明)がされている場合はそれでも可とします。

※履修状況等により，全学年分の成績が記載されない場合はその理由を成績証明書に記載してください。

⑺ 卒業者・修了者の証明書については発行期限を問いませんが，卒業見込者・修了見込者の証明書は出願前３ヶ月以内に発行したものを提出してください。

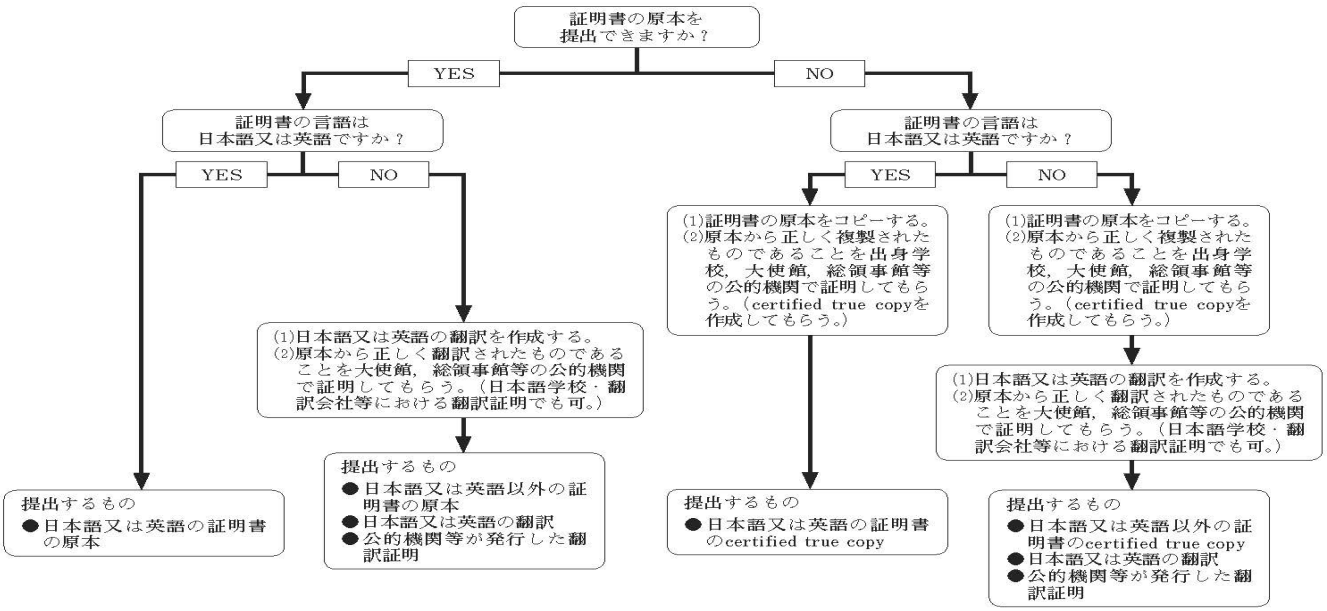
⑻ 卒業証書等，一度しか発行されない書類を証明書として提出する場合は**事前に**芸術学研究科教務課大学院係に連絡をしてください。

⑼ 証明書に記載の個人情報（氏名・生年月日・入学年月日・卒業年月日）が誤っている場合，その証明書は出願書類として受理出来ません。出願締切日に間に合うよう、提出前にご自身で必ず確認し，誤っている場合は発行元に問い合わせて正しい証明書を取り寄せてください。

⑽ 成績証明書について，複数の大学に在籍していた場合は，それぞれの大学での在学期間中の成績が記載されているものを提出してください。（大学から大学への編入学・自学考試による卒業者など）

⑾ 飛び級・繰り上げ卒業の場合はそれを証明する出身学校発行の書類を提出してください。

※ 日本国外の大学を卒業した方は以下を参考としてください



Ⅳ　入学試験科目，提出作品・論文等について

１.試験科目

１）博士前期課程

専攻	試験科目
文芸学	**＜１次試験＞**　① 書類審査 **＜２次試験＞**　① 外国語試験 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可） ② 日本語による小論文試験 ③ 日本語による口述試験
映像芸術	**＜１次試験＞**　① 書類審査【全分野】 ② 論文または作品審査【全分野】 **＜２次試験＞**　① 外国語試験【全分野】 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可） ② 日本語による小論文試験【全分野】 ③ 日本語による口述試験【全分野】
造形芸術	**＜１次試験＞**　① 書類審査【全分野】 ② 論文または作品審査【全分野】 **＜２次試験＞**　① 外国語試験【造形理論分野】 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可） ② 日本語による小論文試験【コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン・造形理論・地域芸術分野】 ③ 実技試験【絵画・版画・彫刻分野】 ④ 日本語による口述試験【全分野】 （絵画・版画・コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン分野は別途提出する作品を用いて行う）
音楽芸術	**＜１次試験＞**　① 書類審査【全分野】 ② 論文または作品審査【作曲・音楽学・音楽教育分野】 **＜２次試験＞**　① 外国語試験【全分野】 （英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択 ※辞書参照可） ② 日本語による小論文試験【全分野】 ③ 実技試験【声楽・器楽・音楽学分野】 ④ 日本語による口述試験【全分野】
舞台芸術	**＜１次試験＞**　① 書類審査 ② 論文または作品・資料審査 **＜２次試験＞**　① 外国語試験【全分野】 （英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可） ② 日本語による小論文試験 ③ 日本語による口述試験

２）博士後期課程　〈一般入学試験・社会人入学試験〉

試験区分	試験科目
一般入学試験	**＜１次試験＞**　① 書類審査 ② 論文または作品審査 **＜２次試験＞**　① 外国語試験 （英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可） ② 日本語による論文試験 ③ 日本語による口述試験
社会人入学試験	**＜１次試験＞**　① 書類審査 ② 業績審査 **＜２次試験＞**　① 日本語による論文試験 ② 日本語による口述試験

２．１次試験の概要（「論文または作品審査」の詳細）

1）博士前期課程

専攻	1 次試験における提出作品・論文の内容
文芸学	**1 書類審査**
映像芸術	**1 書類審査** **2 論文または作品審査** **以下①～⑤のいずれかを提出すること(注1参照)** **①～⑤は入学後の研究領域及びコース(論文コース，制作・作品コース)に属するものとする** **① 写真作品** 1テーマ 20 点以上で，サイズ 8 インチ×10 インチあるいはA4 のポートフォリオ，またはA4 以下のブックを合計３冊まで。 **② 映像作品** 1本で 30 分程度を原則とする。 （アニメーション，アート作品などで，連作や1本数分の短編の場合，複数の提出も可とする） ～提出作品については以下の要件を十分確認すること～ 1. 言語が日本語でない場合は日本語字幕スーパーをつけることが望ましい。それができない場合は，日本語による概要を添付すること。 2. 日本語によるスタッフ表（本人の担当を明記）を添付すること。 3. DVD ビデオ・BD ビデオで提出する場合は、日本で再生できる方式・リージョンにすること。 4. 必ずファイナライズされたものを提出すること。 5. フラッシュメモリー等でデータ提出する場合は，提出時の最新の Windows Media Player，または，QuickTime Player で再生できるものにすること。 6. 作品の分数，または音声チャンネル等の再生指定がある場合はその情報を明記すること。 **③ シナリオ作品(紙媒体で提出すること)** **④ 音響作品** 1. ディスク，データでの提出はどちらでもかまわないが，映像作品に準じ日本で再生できるもの（特別な指示がある場合は明記すること） 2. 作品の分数を明記し，スタッフがいる場合はその表（本人の担当を明記）を添付すること。 **⑤ 論文(紙媒体で提出すること)** 日本語又は英語による論文　※日本語による 4000 字程度の概要を添付すること
造形芸術	**1 書類審査** **2 論文または作品審査** **分野により定められている作品又は論文を提出すること(注1，注6参照)** **① 絵画分野** 絵画作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）１冊 **② 版画分野** 版画作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）１冊 **③ 彫刻分野** 彫刻作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）１冊 **④ コミュニケーションデザイン分野** 大学院の研究につながる３点の作品について片面印刷６枚以内で簡潔にまとめたポートフォリオ１冊 **⑤ インダストリアルデザイン分野** 大学院の研究につながる３点の作品について片面印刷６枚以内で簡潔にまとめたポートフォリオ１冊 **⑥ 建築デザイン分野** 大学院の研究につながる３点の作品について片面印刷６枚以内で簡潔にまとめたポートフォリオ１冊 **⑦ 造形理論分野** 日本語による論文　※概要を添付すること **⑧ 地域芸術分野** 日本語による論文　※概要を添付すること または　作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）１冊

専攻	1次試験における提出作品・論文の内容
音楽芸術	**1 書類審査** **2 論文または作品審査【作曲・音楽学・音楽教育分野のみ】** **分野により定められている作品又は論文を提出すること(注1参照)** **① 作曲分野** 自作品の楽譜（２点を限度とする。編成や長さは問わない。録音ＣＤを添付することも可） **② 音楽学分野** 日本語または英語による音楽系の論文またはレポート（２点を限度とする。長さは問わない） **③ 音楽教育分野** 日本語による音楽教育に関連する論文１本（卒業論文を含む）またはレポート２点（授業等で提出ずみのもの）
舞台芸術	**1 書類審査** **2 論文または作品・資料審査** **次のいずれかを提出すること(注1参照)** **①～④は入学後の研究領域及びコース(論文コース，制作・作品コース)に属するものとする** **① 映像資料** 【本人の出演・創舞・演出に該当する場合のみ】 ビデオテープ・ＤＶＤ・ＢＤ（日本国内で一般的に再生可能なものに限る）等の舞台映像資料 1. 映像資料は１本とする 2. チラシまたはパンフレットの写し等，必ず本人の担当や名前などが明記されているものを添付すること 3. ＤＶＤ・ＢＤはファイナライズしておくこと **② 戯曲** 舞台用に本人が創作した戯曲 戯曲は１本とし，実際に舞台で上演されたもの，または戯曲集やそれに相当する媒体に掲載されたもの 1. 舞台上演されたものは実際に使用した台本（チラシまたはパンフレットも添付）を提出すること 2. 戯曲集など書籍収録の場合は，実物またはコピーを提出すること。その場合は，必ず表紙・目次・奥付も添付すること **③ 舞台資料** 今までに関わった舞台等（３作品を限度とする）の「ポートフォリオ（舞台資料）」 **④ 論文** 日本語による論文　※概要を添付すること

≪注意事項≫

⑴ **「論文コース」へ出願する場合は「論文」を，「制作・作品コース」へ出願する場合は「作品」を提出することを推奨いたします。**

⑵ １次試験において審査対象となる作品・論文等は 12 月 11 日（金） までにその他の出願書類と併せて芸術学研究科宛てにお送りください。（郵送必着）

⑶ 提出作品・論文については，指示がない限り原則として紙媒体での提出となります。

⑷ 作品・論文等の提出には，本人が作成したものであることを証明する「提出作品・論文等証明書」（所定用紙）の添付が必要になります。

⑸ １次試験のために提出された論文・作品は１次試験合格発表日後，指定の期日までに申し出のあった方のみに返却いたします。※返却方法の詳細は１次試験合格発表後に案内いたします。なお，１次試験合格者には２次試験受験時に返却いたします。

⑹ 造形芸術専攻（造形理論分野・地域芸術分野以外）の「論文コース」へ出願する方で論文がある場合は作品と一緒に紙媒体にて提出してください。（日本語以外の言語で書かれている場合は日本語に翻訳してください）

⑺ 提出作品・論文は芸術学部卒業生，卒業見込生も提出が必要となります。

２）博士後期課程

試験区分	１次試験における提出作品・論文の内容
一般	**１　書類審査** **２　論文または作品審査** **次のいずれかを提出すること** **①　論文の場合** 日本語による論文（大学院博士前期(修士)課程修了時の修士論文も可） ※日本語による 4,000 字の概要を添付すること **②　作品の場合（修了作品等で副論文がある場合は添付すること）** ⑴ **写真作品** １テーマ 20 点以上のプリント（サイズは 8 インチ×10 インチ判あるいは A4 判以上）を台紙に貼付すること。B/W，カラーいずれも可 ⑵ **映像作品** 提出作品は１本で 30 分程度を原則とする。 (アニメーション，アート作品などで，連作や１本数分の短編の場合，複数の提出も可とする) 提出作品については以下の要件を十分確認すること。 1. 言語が日本語でない場合は日本語字幕スーパーをつけることが望ましい。それができない場合は，日本語による概要を添付すること。 2. 日本語によるスタッフ表（本人の担当を明記）を添付すること。 3. DVD ビデオ・BD ビデオで提出する場合は、日本で再生できる方式・リージョンにすること。 4. 必ずファイナライズされたものを提出すること。 5. フラッシュメモリー等でデータ提出する場合は，提出時の最新の Windows Media Player，または，QuickTime Player で再生できるものにすること。 6. 作品の分数，または音声チャンネル等の再生指定がある場合はその情報を明記すること。 ⑶ **絵画** 絵画作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）１冊 ⑷ **版画** 版画作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）１冊 ⑸ **彫刻** 彫刻作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）１冊 ⑹ **コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン** 修了制作を含むポートフォリオ　１冊 ⑺ **地域芸術** 作品を撮影した写真をまとめたファイル（ポートフォリオ）１冊 ⑻ **作曲** 作曲の場合は作品２点以上の楽譜（そのうち１点は音源ＣＤ）を提出 ⑼ **演奏** 演奏の場合は演奏を録音したＣＤ（声楽は３０分程度，器楽は４０分程度）を提出
社会人	**上記論文・作品いずれかに加え，** **研究業績報告書《所定用紙》** 場合により業績現物の提出を求めることもある

≪注意事項≫

⑴　審査対象となる作品もしくは論文はその他出願書類と併せて 12 月 11 日（金）までに芸術学研究科教務課大学院係へ提出してください。

⑵　提出作品・論文については，指示がない限り原則として紙媒体での提出となります。

⑶　作品・論文等の提出には，本人が作成したものであることを証明する「提出作品・論文等証明書」(所定用紙)の添付が必要になります。

⑷　１次試験のために提出された論文・作品は１次試験合格発表日後，指定の期日までに申し出のあった方のみに返却いたします。※返却方法の詳細は１次試験合格発表後に案内いたします。なお，１次試験合格者には２次試験受験時に返却いたします

⑸　大学院博士前期課程修了見込者で，修了作品にて修了する場合は出願時に提出できる時点の副論文を必ず添付してください。

３．２次試験の概要

⚠ ２次試験は１次試験の合格者のみ受験が可能です。

１）博士前期課程

専攻	2次試験の内容
文芸学	**1 外国語試験（60 分）** 英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可 **2 日本語による小論文試験（60 分）** 試験当日に与えられたテーマで記述する **3 日本語による口述試験**
映像芸術	**1 外国語試験【全分野】（60 分）** 英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可 **2 日本語による小論文試験【全分野】（80 分）** 試験当日に与えられたテーマで記述する **3 日本語による口述試験【全分野】**
造形芸術	**1 外国語試験【造形理論分野】（60 分）** 英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可 **2 日本語による小論文試験** **【コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン・造形理論・地域芸術分野】** コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン分野 ➤ 90 分 造形理論分野 ➤ 80 分　地域芸術分野 ➤ 60 分 試験当日に与えられたテーマで記述する **3 実技試験【絵画・版画・彫刻分野】** **① 絵画・版画分野**　デッサン 120 分 **② 彫刻分野**　デッサン 180 分 **4 日本語による口述試験【全分野】** 絵画・版画・コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン分野は 別途提出する作品を用いて行う。※P19 ⑶ 参照 絵画分野 ➤ 絵画作品５０号以上３点 版画分野 ➤ 版画作品５点以上 コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン分野 ➤ 自由にまとめてブックの形に仕上げたポートフォリオ１点に加え，平面系デザインの場合はグラフィック作品，立体系デザインの場合はモックアップや模型など数点
音楽芸術	**1 外国語試験【全分野】（60 分）** 英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可 **2 日本語による小論文試験【全分野】（60 分）** 専攻分野にかかわる研究テーマをあらかじめ各自設定し，記述する **3 実技試験【声楽・器楽・音楽学分野】** ①　声楽分野 任意の声楽曲（計 10 分以上 20 分以内。暗譜） ②　器楽分野 各自の専攻する器楽曲（計 10 分以上 20 分以内。暗譜） ※ピアノ以外の楽器で受験する場合は，事前に問い合わせること ③　音楽学分野 任意の楽器（声を含む）の演奏（３分程度以上。暗譜の必要はない） **4 日本語による口述試験【全分野】**
舞台芸術	**1 外国語試験（60 分）** 英語・独語・仏語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可 **2 日本語による小論文試験（60 分）** 試験当日に与えられたテーマで記述する **3 日本語による口述試験**

２）博士後期課程

試験区分	2次試験の内容
一般	**1　外国語試験（60 分）** 英語・独語・仏語・伊語・日本語のうち自国語を除く１か国語選択　※辞書参照可 **2　日本語による論文試験（90 分）** 試験当日に与えられたテーマで記述する **3　日本語による口述試験**
社会人	**1　日本語による論文試験（90 分）** 試験当日に与えられたテーマで記述する **2　日本語による口述試験**

≪注意事項≫

⑴　２次試験は１次試験の合格者のみ受験出来ます。

⑵　２次試験は芸術学部（芸術学研究科）の校舎で実施いたします。

⑶　**博士前期課程造形芸術専攻（絵画・版画・コミュニケーションデザイン・インダストリアルデザイン・建築デザイン分野）の口述試験で用いる提出作品について，提出期日や提出方法等の詳細は１次試験合否結果通知時に１次試験合格者へお知らせいたします。**

⑷　２次試験における口述試験のために提出いただいた作品は２次試験終了後にご返却いたします。

⑸　小論文試験・論文試験ともテーマ・字数等は原則として試験時に指示いたします。

⑹　小論文・論文試験ともにすべて辞書含む参照物は一切不可です。

⑺　「外国語試験」において，辞書参照可とする場合の辞書は書籍辞書のみとし，電子辞書は不可です。

⑻　過去３年分の小論文・論文試験課題，過去１年分の外国語問題を公開しています。閲覧希望の場合は日本大学芸術学部教務課大学院係へご連絡ください。

Ⅴ　２０２７年度（令和９年度）芸術学研究科研究指導教授一覧

1 博士前期課程研究指導教授一覧

専攻	分野	教員氏名	指導コース
文芸学		青木　敬士	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		上田　薫	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		久保　陽子	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		ジュリアン マニング	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		ソコロワ山下聖美	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		谷村　順一	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		楊　逸	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
映像芸術	写真	秋元　貴美子	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
	映画	大谷　尚子	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		奥野　邦利	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		上倉　泉	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		齊藤　裕人	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		清水　和貴	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		志村　三代子	論文(MA)コース
		増田　治宏	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
	放送	安部　裕	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		茅原　良平	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		小林　偉	制作・作品(MFA)コース
		中町　綾子	論文(MA)コース
造形芸術	絵画	福島　唯史	制作・作品コース(MFA)
	版画	笹井　祐子	制作・作品コース(MFA)
	彫刻/地域芸術	鞍掛　純一	制作・作品コース(MFA)
	コミュニケーションデザイン	池田　光宏	制作・作品コース(MFA)
		笠井　則幸	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
	インダストリアルデザイン	佐藤　徹	制作・作品コース(MFA)
		長瀬　浩明	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
	建築デザイン	若原　一貴	制作・作品コース(MFA)
	造形理論	田中　修二	論文(MA)コース
		山本　守和	論文(MA)コース
音楽芸術	作曲/音楽学	伊藤　弘之	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
	器楽	萩原　貴子	制作・作品コース(MFA)
	器楽/声楽	脇岡　洋平	制作・作品コース(MFA)
	音楽教育	大寺　雅子	論文(MA)コース
	情報音楽	川上　央	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		三戸　勇気	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
舞台芸術		小沢　徹	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		小林　直弥	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		櫻井　歓	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		中野　成樹	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース
		山口　英峰	論文(MA)コース / 制作・作品(MFA)コース

各教員の専門領域の詳細は芸術学研究科ホームページ等を参照してください。
上表の内容は２０２６年９月現在のものです。今後，変更が生じる可能性があります。（変更が生じた場合は芸術学研究科ホームページにてお知らせいたします）

2 博士後期課程研究指導教授一覧

研究指導領域	教員氏名
文　芸	上　田　　薫
	久　保　陽　子
	ソコロワ山下聖美
	楊　　逸
映　像	奥　野　邦　利
	上　倉　　泉
	齊　藤　裕　人
	志　村　三代子
	安　部　　裕
	中　町　綾　子

研究指導領域	教員氏名
造　形	福　島　唯　史
	笹　井　祐　子
	鞍　掛　純　一
	田　中　修　二
	笠　井　則　幸
	佐　藤　　徹
音　楽	萩　原　貴　子
	川　上　　央
舞　台	小　林　直　弥

各教員の専門領域の詳細は芸術学研究科ホームページ等を参照してください。
上表の内容は２０２６年９月現在のものです。今後，変更が生じる可能性があります（変更が生じた場合は芸術学研究科ホームページにてお知らせいたします）

Ⅵ　入学手続及び入学時納入金･学費

１．入学手続について

①　合格者は入学手続期間内に，入学手続時納入金を納め，手続きを完了してください。

②　入学手続完了後（入学時納入金を全額納入した後）に，やむをえない理由によって本学への入学を辞退する場合は，電話により２０２７年３月３１日（水）１７時までに入学を辞退する旨，日本大学芸術学部教務課大学院係（03-5995-8202）へ申し出てください。

申し出を受理しますと，「入学辞退願」を本研究科より送付いたしますので，必要事項を記入の上，既送の「入学許可書」と併せて速やかに返送してください。

手続き終了後，入学金を除く入学時納入金（諸会費等を含む）は返還いたします。ただし，いったん提出された入学手続書類及び入学金は返還いたしません。

なお，２０２７年４月１日（木）以降に申し出があった場合は本学に学籍が生じておりますので，入学手続書類及び入学時納入金は返還いたしません。（傷害保険については，約款の定めるところによる）

《注意》⑴　入学辞退の申し出受理に際しては，直接本人の意思確認をさせていただきます。

⑵　入学辞退の申し出を，本研究科が受理した後の辞退取り消しは認めません。

⑶　「入学辞退願」が提出されない場合，入学金を除く入学時納入金の返還手続きができませんので，必ず提出してください。

③　その他，詳細は合格後配布される入学手続要項を参照してください。

２．2027 年度（令和９年度）入学者の入学金・授業料等納入金一覧

（単位：円）

課程･専攻		納入区分	入学金（入学時のみ）	授業料	施設設備資金	実験実習料	校友会費【準会員】	前学期 計 後学期 計	初年度 年 額	2年次以降 年 額
博士 前期課程	文芸学	入学手続時（前学期）納入金	200,000	300,000	100,000	20,000	10,000	630,000	1,050,000	850,000
		後学期納入金	－	300,000	100,000	20,000	－	420,000		
	映像芸術	入学手続時（前学期）納入金	200,000	340,000	100,000	50,000	10,000	700,000	1,190,000	990,000
		後学期納入金	－	340,000	100,000	50,000	－	490,000		
	造形芸術	入学手続時（前学期）納入金	200,000	355,000	100,000	45,000	10,000	710,000	1,210,000	1,010,000
		後学期納入金	－	355,000	100,000	45,000	－	500,000		
	音楽芸術	入学手続時（前学期）納入金	200,000	355,000	100,000	55,000	10,000	720,000	1,230,000	1,030,000
		後学期納入金	－	355,000	100,000	55,000	－	510,000		
	舞台芸術	入学手続時（前学期）納入金	200,000	340,000	100,000	35,000	10,000	685,000	1,160,000	960,000
		後学期納入金	－	340,000	100,000	35,000	－	475,000		
博士 後期課程	芸術	入学手続時（前学期）納入金	200,000	350,000	100,000	－	10,000	660,000	1,110,000	910,000
		後学期納入金	－	350,000	100,000	－	－	450,000		

※学内者（本大学を卒業した者または本大学院を修了した者）については入学金の納入はありません。

※修了予定年度の後学期に日本大学校友会正会員費初年度分として１０,０００円を代理徴収いたします。

３．その他

①　在留資格を有していない留学生は原則として大学院研究科が在留資格認定証明書を出入国管理局に代理申請することになりますが，申請から交付までには２ヶ月程度要しますので，一般入学試験に合格した留学生は３月末までに日本に入国できない可能性があります。外国人留学生の在留資格に関する手続き等は合格者に通知する入学手続書類にてご案内いたします。

②　奨学金に関する情報は日本大学芸術学部ホームページをご確認ください。

日本大学芸術学部ホームページ＞奨学金制度